

令和8年度 第7回市長タウンミーティング概要

と き：令和8年4月19日（日）
午後2時30分～4時
ところ：中央公民館
参加者：75人

○市長あいさつ

（市長より、令和8年度の施策・予算についての説明が行われました。）

○意見交換

質問（市民）

ここ近年、話題になっている外国人問題についてですが、蕨市の人口統計を見ると、人口が7万7千人と増えてはいますが、よく見てみると、日本人の数が減り、外国人の数が増えている状況で、気になるのが街の治安についてです。蕨で知り合った人や蕨駅などで清掃活動をしている人からは、駅周辺が喫煙禁止区域なのにも関わらず、喫煙している人がけっこう多いと聞きます。また、外国人批判で口論が起きたりして、不安を感じるという話を聞いたりしました。今後、この問題にどのように対応していくのが良いと考えているのかお伺いしたいです。

回答（市長）

蕨市内の犯罪件数については、ピーク時の平成15年から4分の1以下に減っており、減少率でいえば国や県全体と比べても高い状況にあります。その上で、今年度からは駅周辺の青色防犯パトロールに加え、警備会社による徒歩の防犯パトロールを開始し、防犯対策の更なる充実を図ります。また、お話にあった駅周辺での喫煙問題で言えば、喫煙禁止エリアでは、シルバー人材センターに委託して啓発をしていますが、国籍を問わず、なかなかマナーを守っていただけない方がいることは事実です。その中で外国人の方に対しては、喫煙禁止エリアということがわかるように、外国語でも表示をしたり、一目でわかるようなイラストの注意喚起を増やしたりして取り組みを進めておりますが、今年度からは、先ほど申し上げた徒歩の防犯パトロールの際に、路上飲酒・喫煙に関する声かけも行うなど、対策を強化していきます。

また、この問題というのは、ネット上の情報と実生活に大きな乖離があると思

っています。インターネット上で、いろいろと言っているのは市外の方が大半であり、実際に蕨に住んでいる方は実態との違いを感じていると思います。市外のこの問題を訴える人たちと反対している人たちとの間で、駅前などでちょっとしたいざこざが何回か起きてしまっています。警察等とも情報共有し、連携して対応していますが、今の法律では行為自体をやめさせることはできないので、警察の方で安全対策を中心として対応しているというのが現状です。蕨は、全体として住みよいまちづくりが進んでおり、定住意識や愛着を感じている人が約8割に上っているように、実際の蕨のまちの魅力をもっともっと発信していきたいし、そういう努力を続けていきたいと思っています。

市長として大事だと考えているのは、国籍に関わらず、皆さんが安全で安心して暮らしていけるまちづくりであると考えています。例えば、外国人住民への取り組みとして行っているのは、ゴミ出しのルールについて多言語で周知徹底して理解してもらうことで、市内のゴミ集積所が3,000か所ぐらいありますが、多言語版のゴミの分別や収集日を記載した貼り紙や看板を特に周知が必要な場所を優先して、各町会に配布して掲示してもらうなどしています。もし、具体的にこの場所が心配など教えていただければ、個別に対応させていただきますので、教えていただければと思います。

質問(市民)

個人市民税の話がありましたが、収納率が上がったのは、特別徴収に変わったからだと思いますが、いかがでしょうか。

次に先ほどの外国人問題について、治安が悪いと感じるかどうかは個人差があるので何とも言えませんが、外国人が増えていることについて、市長は、促進する立場なのか、無関心なのか、問題意識があるのかを聞きたいです。

回答(市長)

まず、特別徴収という制度は以前からありますので、この間、個人市民税の収納率が上がってきたのは、市として、納税コールセンターを設置するなど収納率向上のための対策や工夫を行ってきたことに加え、何より市民の皆さんのご協力をいただけてきたからと考えています。

2点目の外国人の増加については、ご承知ではあると思いますが、外国人の受入れについては、国の施策になりますので、是非は色々あると思いますが、自治体としてはどうにかできる話ではないんですね。その上で、居住地の自由がありますから、東京23区や埼玉県で言えば蕨を含む南部地域など、便利な場所に居住する傾向にあります。蕨は外国人比率が県内で一番高いですが、蕨はまちの

中心部しかないような市ですので、近隣市も中心地だけ見れば、同じような比率になるのではないかと思います。市長として大事だと考えていることは、そこに住んでいる人たちみんながルールを守り、安全安心に気持ちよく生活できるまちづくりをしていくことであると考えています。そのためには、例えば、ゴミ捨てのルールの周知徹底であったり、日本語がわからないお子さんがいれば、日本語特別支援教育を受けていただいて、日本での生活に困らないようにするなど支援を進めています。また、市役所での転入手続きなどの際に、外国人生活ガイドブックをお渡しするとともに、待ち時間に日本での生活のマナーやルールなどの説明動画を見てもらう生活オリエンテーションも実施しています。

質問(市民)

骨粗しょう症検診の受付時間についての「お詫びと訂正」という通知が市から届いたのですが、字が小さくて読めません。今後は読める大きさの字でお願いします。

次に、蕨市消費生活センターでいただいた冊子についてです。中身は大変大事なことが書いてあるのですが、表現の中に「やば！」とか「くそっ」とかいった言葉があり、私にはちょっと普通ではないと思えます。その方が皆さんにウケがいいのかもしれませんが、私としては疑問に思います。市が関与していると思いますので、直していただければありがたいと思います。

次に、駅前通りのお店についてです。利用者の自転車を道路に停めるのは仕方ないと思いますが、軒下に鉢植えがある分、通行人が車道に出てしまうことになり、危険です。困っていますので改善をお願いします。

最後に、スーパーでの子ども達のマナーについてです。大きな原因は学校教育に問題があると考えています。

回答(市長)

まず1点目の市からの通知についてですが、今、現物を見せていただきましたが、確かに字が小さいですね。スペースが限られている中でこのような形になったのかなと思いますが、これはさすがに字が小さいので、担当部署に言って改善したいと思います。

2点目の冊子の表現については、おそらく若い世代の方にも見てもらう工夫としてそういう表現が入っていると思いますが、もし、改善が必要なところがあれば、対応したいと思いますので、作成元も含めて確認させていただきます。

3点目のお店の問題ですが、後ほど具体的な場所を教えていただければ、現地を確認し、対応をさせていただきます。

最後に、スーパーでのお子さんのマナーについては、しつけやマナーは大切ですし、状況によっては周りが注意することも必要かとは思いますが、一律に厳しくするのはではなく、やはり子育ては大変ですから、温かい目で見守っていただくことも大事なのかなと思います。

(商工観光課より 蕨市消費生活センターで作成した啓発用のノートについては、若い方に向けて、スマートフォンやタブレットのゲーム課金のトラブルについて、漫画で啓発しているページがあり、ご指摘の言葉は、登場人物のセリフの中で出てくるものです。ご意見として受け止めさせていただきますが、若者向けの啓発として、ご理解をくださいますようお願いいたします。)

質問(市民)

先日、家の近くの神社のお祭りに参加したところ、抽選があったのですが、その抽選券はみんなに配布されたと聞きましたが、私はもらっていませんでした。私は賃貸住まいで、回覧板もないし、町会費も払っていないので、もらえなかったのでしょうか。お金を出してでも参加したかったので、とても寂しかったです。もし、その辺の対策があれば教えていただきたいです。

回答(市長)

どこのお祭りかはわかりませんが、町会は、基本的に住まいが賃貸か分譲かは関係ないと思います。もしかすると、町会主催のお祭りなら、事前に町会員にご案内などを配る際に抽選券を付けていることも考えられますが、後で詳細を教えていただければ、担当から聞いてみたいと思います。これからも住まいに関係なくみんなでお祭りを楽しめるような蕨のまちでありたいと思っています。

(安全安心課より お住まいの地域の町会に確認したところ、ご質問のお祭りは神社主催のお祭りで、抽選券は町会加入には関係がなく、神社に奉納をされた方に配布されたものと聞いていますとのことです。)

質問(市民)

移民問題についてです。国の施策であることは重々承知していますが、市長というのは市民の代表ですので、国の施策だから口を挟めないということではなくて、市民がどう思っているのかということを知りたいと、外国人問題についてのタウンミーティングを開いてほしいです。そこで出た意見を集約して国や県

にあげてほしいです。私の子どもは小学生ですが、クラスの2割ぐらいが外国人です。例えば、PTAの役員を決めるときに、日本語が片言の親御さんには任せられないとなり、残った日本人の親同士で役員決めをしています。

また、芝園団地近くの北町エリアに、外国人の店の周りで路上駐車が非常に多い場所があります。私も何度も通報しています。犯罪件数は減っているのかもしれませんが、こうした通報件数は増えているのではないのでしょうか。

回答（市長）

そうしたご意見があるということは、市長として受け止めさせていただきま
す。外国人に関わる個別の課題については、ひとつひとつ対応して解決していく
ことが大事だと考えています。PTAに関しては、全国的にも様々な事情で年々
活動が厳しくなっているとは聞いていますが、教育全体で言えば、蕨の子ども達
は、学力面でも体力面でも県内で上位の成績を残しています。それは、本人、家
庭、学校の努力の成果ですが、市としては、引き続き子ども達を第一に考え、手
厚い支援を続けていきたいと思えます。

また、北町の路上駐車の問題は私も報告を受けており、これまでも担当が警察
と連携しながら、対応はしてきており、若干改善してきていると聞いていますが、
引き続き、解決するまで粘り強く対応していきたいと考えています。

外国人問題については、市長として必要な意見は今後も国に要望していき
たいと思えます。いずれにせよ、大事なことは市民の皆さんが安全安心に気持ちよ
く暮らせるまちづくりをしていく上で課題となることには、市長としてしっか
りと解決に向けて取り組んでいくというのが、一貫したスタンスですので、必要
なことは皆さんのご意見をお聞きしながら取り組んでいきたいと考えています。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えでき
なかった内容を、加筆・修正して公開しています。